

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解 科目コード：120115 疫学 Epidemiology					
担当教員	大木 秀一				
実務経験					
開講年次	2年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	集団の健康、疫学の定義、頻度指標、曝露効果指標、因果推論、疫学的研究デザイン、誤差、保健統計、疫学の応用				
学習目的・目標	公衆衛生学に引き続き疫学を学ぶ。疫学は人間集団における健康状態とそれに関連する要因の頻度と分布を明らかにし、公衆衛生の発展を目指す分野である。今日では、保健・医療・看護の分野の基礎研究だけでなく、地域における実践活動においても疫学の知識が不可欠である。臨床疫学の応用であるEvidence-based Nursingでは、疫学的方法と臨床における個々の患者の特性に基づくケアとを融合し、個人についての研究と患者集団の研究とを結びつけて考察することが可能となる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	疫学総論（講義）				
2	疫学総論（演習）				
3	頻度指標（講義）				
4	頻度指標（演習）				
5	曝露効果指標（講義）				
6	曝露効果指標（演習）				
7	疫学研究方法1（講義）				
8	疫学研究方法1（演習）				
9	疫学研究方法2（講義）				
10	疫学研究方法2（演習）				
11	疫学研究の質-誤差とバイアス（講義）				
12	疫学研究の質-誤差とバイアス（演習）				
13	スクリーニング検査（講義）				
14	スクリーニング検査（演習）				
15	まとめ				
教科書	基本からわかる看護疫学入門第3版、大木秀一、医歯薬出版、2017.				
参考図書等					
評価指標	筆記試験85%、問題演習15%				
関連科目	公衆衛生学				
教員から学生へのメッセージ					